

## ベトナム溶接研究会 第10回研究会(ベトナム・ホーチミン市他)

勝又 美穂子

グローバルD&amp;I推進室 准教授

2023年11月24日(金)、ベトナム・ホーチミン市JETROホーチミン及び近郊のVung Tau省にて第10回ベトナム溶接研究会を開催しました。第一部はJETROホーチミン事務所の会議室をお借りし企業講演1件、学術講演1件を行い、第二部はVung Tau省にあるQH Plus Steel Structureの工場見学を行いました。第一部、第二部共に35名以上のご参加があり、盛況となりました。

第一部では、まずJFEスチールベトナム社長、芳木泰正様より「ベトナム鉄鋼業の動向について」と題した講演を頂戴しました。ベトナムにおける鉄鋼業に関する非常に詳細なデータに基づき現状と今後の見通し、及び今後必要不可欠である鉄鋼プロセスの脱炭素化の流れ、需要拡大が見込まれるグリーン鋼材のご紹介などもいただきました。一般的には手に入らない詳細なデータに基づく大変貴重なご講演でした。

また、学術講演は当研究所准教授の佐藤雄二先生から「青色半導体レーザを用いた先進金属積層造形法の開発」について発表を頂戴しました。レーザの照射方法あるいは種類による現象の違いや、改善のための最新研究結果が報告されました。この技術は産業界においても多岐に活用できる潜

在性を秘めた技術だと、会場からも多くの期待の聲が寄せられました。

第二部の工場見学は、Vung Tau省にてビル、橋梁、工場等多岐にわたる鉄鋼構造物を製造されているQH Plus Steel Structureを訪問しました。同社はベトナム企業ですが、社長、副社長、工場長も日本語が堪能で、今後一層の日本市場への参入を目指して活動中です。ベトナム国内のランドマークや観光地の特殊構造物はもとより、東南アジア、太平洋地域及び欧米にも案件を持ち、広く活躍されています。当日は最初に恩田アドバイザーやHuan社長、Phi工場長からの会社説明後、3グループに分かれ工場見学を行いました。広大な工場内では世界に向けた多様な鉄鋼製品が製造され、その活気は圧巻でした。同社は米国、カナダ、日本等多地域に準拠した製造資格を積極的に取得し、更なる市場の開拓を進められています。

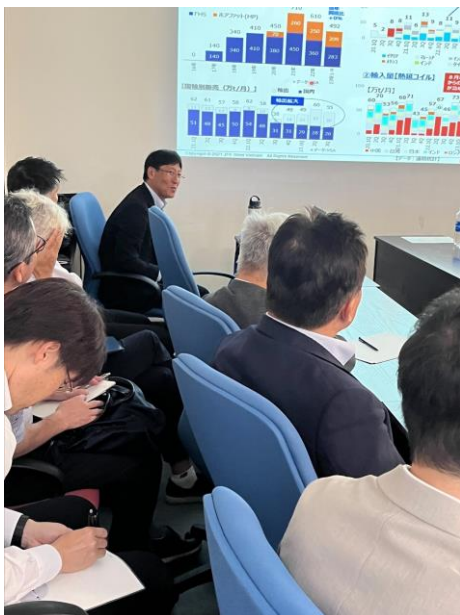
ベトナム溶接研究会は今回で第10回目の開催となりました。多くの企業様にご参画頂く中、今後もASEAN地域における溶接技術とそこに携わる産業界発展のために活発な活動を行って参ります。ご理解とご支援を頂いている企業の皆様にはこの場をお借りし改めて御礼申し上げます。



第二部 QH Plusにて集合写真



第一部開会 阪大 田中理事・副学長



第一部企業講演 JFE スチールベトナム 芳木社長



第一部学術講演 接合科学研究所 佐藤准教授



第二部 QH Plus 会社説明等



第二部 QH Plus 工場見学の様子